

世界に羽ばたくアニメーター等の育成支援事業  
協定金支払いに係る算出方法について

令和7年5月

東京都産業労働局商工部創業支援課

東京コンテンツインキュベーションセンター

## 1 協定金支払額の評価方法

### (1) 基準額の算定

東京都は、協定事業として選定した取組について、応募時の見積額と審査委員会による審査結果に基づき、次のとおり基準額を設定します（アウトプット目標の見積額と異なり、KPI 項目ごとではなくアウトプット目標・アウトカム目標それぞれについて設定します）。

- ① アウトプット基準額は、KPI 項目ごとに、見積額から審査委員会において不適当とされた額を除いた額の合計と、5,000 万円（初年度は 3,500 万円）のいずれか低い額とします。
- ② アウトカム基準額は、アウトカム目標に係る審査委員会による審査結果（得点）に連動して、「1,000 万円×得点÷審査基準上の配点」の算式によって算出される額とします。

### (2) 評価額の算定

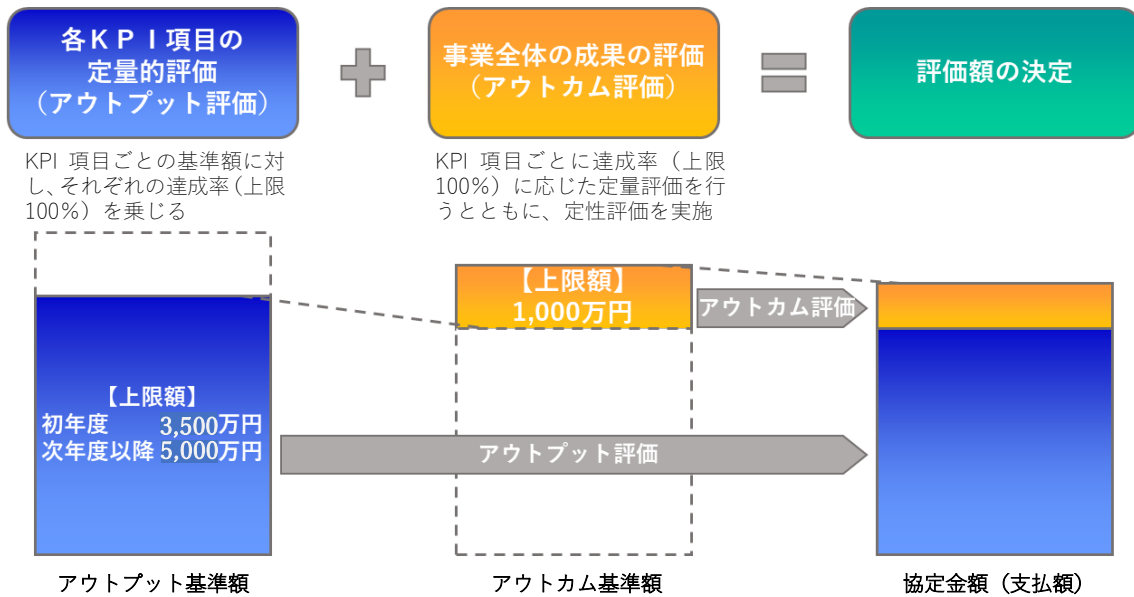
協定金の支払いにあたり、東京都は、半期毎（初年度は年度末のみ）に実施する KPI 評価委員会により、各 KPI 項目の達成状況等を確認し、年度末時点での評価により、単年度毎に協定金の支払い金額が確定します。

金額が決定された協定金は、当該年度分の協定金を単年度毎に支払います。

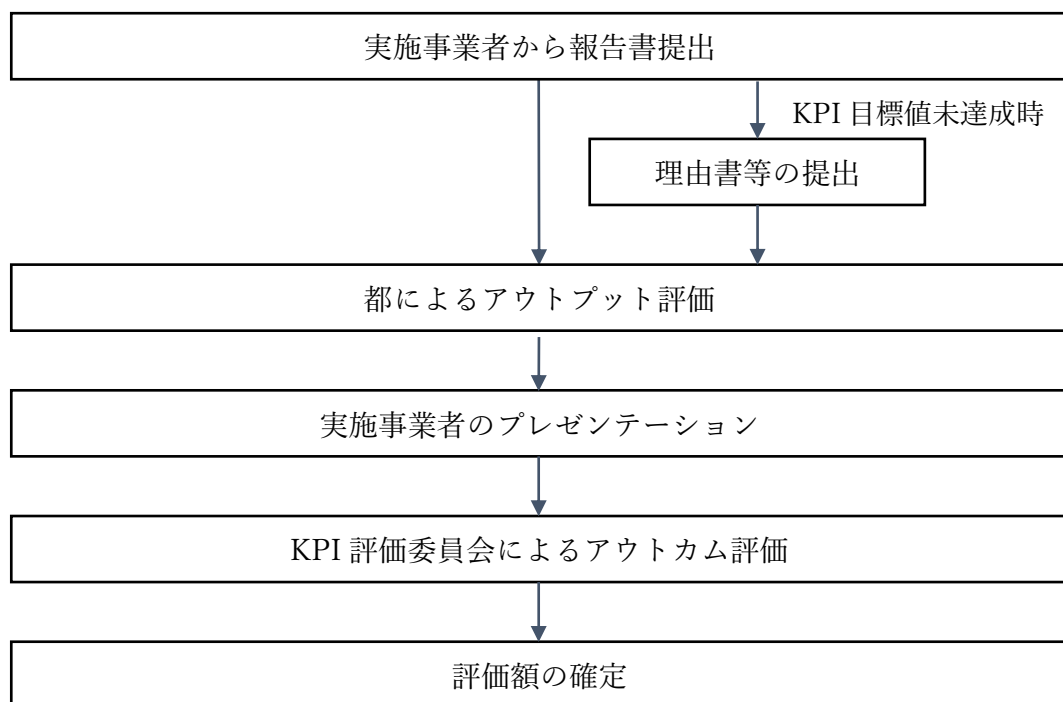
- ① 各年度末に実施する KPI 評価委員会において、アウトプット評価・アウトカム評価の達成状況を定量的に評価し、KPI 項目ごとにその達成率（それぞれ 100%を上限とします。）を算出します。
- ② アウトプット評価について、KPI 項目ごとに「見積額×達成率」の算式により得られる額を合算した額と、アウトプット基準額（※1(1)①を参照）のいずれか低い額をアウトプット評価額とします（アウトプット評価額がアウトプット基準額を上回ることはありません。）。
- ③ アウトカム評価については、KPI 項目ごとに「アウトカム基準額（※1(1)②を参照）÷KPI 項目数（定量的なアウトカム目標）×達成率」の算式により得られる額を合算します。
- ④ ③で得られた額に、アウトカムの定性評価を加えて、アウトカムに係る最終的な評価額を算定します。ただし、このアウトカム評価額は 1,000 万円を上限とします。
- ⑤ ②で得られたアウトプット評価額と、④で得られたアウトカム評価額を合算して、協定金の額を算定します。

上記に基づく評価結果と協定金支払額の紐づけ及び評価実施手順のイメージは以下のとおりです。

### 【協定金決定までの流れ】



### 【達成状況の確認方法】



## 2 K P I 評価について

### (1) アウトプット評価

アウトプット評価における K P I 指標については、本事業の目的達成や品質管理を最低限保証する目的で東京都が定めた必須項目と実施事業者が設定する任意項目に分けられます。応募時に様式 1 「K P I 設定説明書」により提案してください。

定量評価では、公平性の観点から各実施事業者の達成度合いを統一した基準で計るため、K P I 項目毎に数値目標及びそれらが達成されたと判断するための『達成』要件を設定しています。実施事業者は、事業報告時に事業報告書とともに各 K P I 達成状況を客観的に確認できる根拠資料（各種契約書、議事録等）を提出する必要があります。

（各必須項目・任意項目の数値目標及び『達成』要件の詳細は、以下の①必須項目及び②任意項目をご参照ください。）

K P I 未達成の場合や根拠資料に不備がある場合は、理由書をご提出いただきます。K P I 指標が達成されない場合は、協定金の支払い金額が基準額から原則減額となりますが、提出いただいた理由書等を基に、目標値に未達成となった背景・要因等を評価委員会で検討し、最終的な評価額を決定いたします。

なお、アウトプット目標は、事前に都の承認を得た場合に限り、見直し・再設定をすることができます。ただし、下方修正は原則不可とし、見直し・再設定する理由等の説明が必要となります。

また、必須項目・任意項目はいずれも単年度毎に社会潮流や外部環境、事業進捗度合い等に応じて東京都において設定を見直す場合があります。

#### ① 必須項目

評価額算定の審査時において、必達条件となる数値目標は以下のとおりです。

KPI 項目	数値目標	『達成』要件
アトリエラボの利用者数	10 社(者)以上/年度	受付した記録等の提出
セミナー・シンポジウムの参加者数	延 200 名以上/年度	セミナー・シンポジウム参加者リストの提出
育成プログラムの参加者数	10 社(者)以上/年度	プログラム参加者の事業概要等の書類提出
育成プログラムのワークショップ数	6 回以上/年度	実施報告書の提出
育成プログラムの成果発表会の参加企業数	10 社以上/年度	成果発表会の参加者リストの提出

## ② 任意項目

実施事業者は、効率的・効果的な事業遂行のため独自の K P I 指標を設定・提示する必要があります。K P I 指標は以下の例を参照して設定・提案をしてください。設定・提案する K P I 指標には、「アニメーター等の事業成長に向けた出口戦略」に関する評価項目及び数値を最低一つ以上含めてください。

なお、評価項目等は必ずしも記載例に倣う必要はありませんが、本事業目的に合致する K P I 指標を提案してください。

また、本事業をより効果的に実施する K P I 設計であると思料された場合は、アウトカム評価における考慮事項となる可能性もあります。

例) 育成プログラム参加者等を対象とした、投資家・大手企業との個別ネットワーキング数 など

## (2) アウトカム評価

アウトカム評価時には、アウトプット評価以外に東京都が定めた以下の項目から K P I 評価委員会が定量評価及び定性評価により事業全体の評価を行います。定量的な評価項目における目標値等については、応募時に様式 1「K P I 設定説明書」により提案してください。

なお、取組内容やアウトプット目標の大幅な変更につながるため、アウトカム目標の見直し・再設定は原則として不可とします。

【定量的な評価項目】
① アニメ・漫画産業における新たな IP の創出： アトリエラボの活用や育成プログラムの参加により、新たに創出された作品数等
② アニメ・漫画産業の裾野拡大： 育成プログラム等を通じて、デジタルコンテンツを扱うスタートアップとして起業した数やアニメ・漫画産業等におけるデジタル領域への新規参入企業数等
③ アニメ・漫画産業のスタートアップの成長： 育成プログラム等の参加者が自社 IP を軸する企業等との協業や資金調達等をした数等
【定性的な評価項目】
① アニメーター等のコミュニティ形成 育成プログラムの参加者間や TCIC 利用者・関係者との間でコミュニティが形成され、アニメーター等が切磋琢磨し、成長できる環境がアトリエラボや

TCIC 内に構築されている

② アトリエラボの認知度向上

アトリエラボや TCIC が、アニメーターや漫画家のデジタルコンテンツの制作活動の場として定着している

③ デジタル技術等を活用したビジネスモデルの機運醸成

育成プログラム等の参加者の活躍や本事業の取組を通して、既存のビジネスモデルにデジタル技術等を活用した新たなビジネスモデルが社会に浸透している